

2級 (1)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
け	は	み	う	う	に	も	も	ひ	し	で	お	は	ゆ	そ	ろ	ぜ	ゆ	せ	と	こ	は	さ	き	け	あ	せ	や	し	じ
ち		に	れ	や	せ	て	も	が	ぶ	いた	く	そ	う	う	て	ん	せ	く	う	ん	ん	い	ん	ん	ん	ん	し	う	て
		く	や	や		あ		し		ん	そ	よ	ち	ち	い	ん	い	か	そ	ぼ	ご	ん	ん	ん	ん	ち	う	ん	

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ア	イ	ウ	エ	ア	ウ	イ	ア	オ

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
手	之	戸	女	口	又	豕	辰	广	豸

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2
キ	ア	コ	イ	ク	意味

(四) 四字熟語 (30) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
理	拔	唯	厚	金	行	頓	滅	邪	暮	書き取り
路	山	々	顔	科	脚	挫	裂	説	改	

(四) 四字熟語 (30) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
旨	棟	要	洋	加	下	顕	堅	軽	警
		塞	裁	減	弦	示	持	症	鐘

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
妥	完	報	勲	邸	治	慶	委	清	侮
協	璧	酬	功	宅	癒	祝	細	澄	蔑

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
凡	年	胸	包	惨
例	貢	襟	括	敗

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
募	怪	疎	免	忍
っ	しん	ましい	れる	ばせる

(八) 漢字と送りかな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
間	布	状	尽	査	誤
環	膚	壤	甚	詐	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
唇	窮	鶴	硫	芳	慰	覆	爽	繭	誓	懲	故	難	営	煮	恐	愛	褒	呪	三
			黄									癖	巢	沸	慌	猫	美	縛	味

準2級 (1)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
く	か	ゆう	は	しぶ	も	う	つ	つ	さ	ち	し	ご	あ	か	け	か	じ	だ	あ	じ	か	が	か	り	ち	ぎ	て	ゆう	し	
ら	さ	す	な	し	ど	けた	ぐ	ぼ	る	ゅう	ょう	ん	ね	っ	い	ん	ょう	べ	い	よ	ん	けん	せん	り	ょう	き	つ	し	う	
						ま	な	に	ち	しん	やく	い	い	ぱ	ち	ち	と	ん	と	け	け	ん	ん	ぼ	ん	ん	び	う	が	い

1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	エ	ウ	エ	オ	イ	ア	イ	ア

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	寸	皿	目	土	采	犬	舛	缶	心

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2
ウ	キ	カ	ア	コ	意味

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
御	菜	婚	歴	憾	刻	没	紫	条	福	書き取り

(四) 四字熟語 (30) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
奮	震	布	婦	癒	愉	肖	称	矯	享

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
大	憤	考	我	逐	分	湿	閑	放	極
衆	慨	慮	慢	次	裂	潤	散	任	端

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	(九) 書き取り (50) 2×25
病	傑	声	窒	防	
魔	出	援	息	腐	
				剤	

(下へつづく)

5	4	3	2	1	(八) 漢字と送りがな (10) 2×5
懲	鋭	与	伸	遮	
り	く	え	ば	ら	
る			す		

5	4	3	2	1	(七) 誤字訂正 (10) 2×5
特	洗	採	境	従	誤
篤	染	載	況	充	正

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
据	紛	拙	手	寂	踏	拒	一	身	主	連	巨	購	迅	伯	同	搜	凡	蛇	肯
			袋				肌	柄	賓	邦	漢	入	速	仲	伴	索	人	口	定

3級 (1)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
か	は	ほ		お		か			す	い	ひ	と	し	そ	ほ	ふ	ち	た	ば	わ	か	ず	き	せ	そ	ち	け	は	ち
わ	や	の	む	ど	ほ	ら	さ	こ	み	し	よ	う	ゅう	く	う	さ	ょう	え	く	ん	か	い	せ	き	し	たい	ん	き	く
せ	が	お							え	り	は	き	ぜん	しん	らく	い	え	き	ろ	ない	かん	ぶん	い	ら		やく	さん		

1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	オ	ウ	エ	オ	ア	ウ	エ	オ	ウ	イ	エ	ア	オ	イ
荒	揚	飽	肝	甘	勘	慨	該	概	覆	副	伏	卑	疲	被

2×15

5	4	3	2	1
オ	エ	コ	ケ	ク
封	魂	衝	削	匿

2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	オ	ウ	ア	ア	ウ	イ	エ	エ

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	ウ	ア	イ	ア	ウ	イ	ア	エ
口	行	羽	田	女	爰	月	之	入	文

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
欠	頭	豊	邪	創	束	異	重	減	栄

2×10

5	4	3	2	1
背	慕	沈	悔	従
く	う	め	しく	う

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一	東	卓	三	得	明	単	臨	天	独
貫	西	説	脚	失	朗	刀	機	衣	断

2×10

5	4	3	2	1
美	造	伸	旧	最
備	蔵	針	朽	再

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
足	焦	曇	励	滑	更	刷	妨	吸	確	緩	聴	国	伴	展	細	暫	冷	先	別
袋								着	実	和	力	籍	奏	覧	胞	定	凍	輩	途

2×20

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
と	か	し	こ		こ	た		お	き	は	へ	か	たい	ご	て	ふ	ぼ	こ	え	け	の	て	み	ひ	か	い	て	し	た
う	な	ず	わ	と	よ	く		そ	り	ん	き	い	ね	う	く	く	う	ん	い	う	ん	よ	つ	ち	ん	さ	た	ん	
げ	め	く		み	よ			ぎ		し	め	ひ	つ	かい	し	かん	れい	と	し	し	し	う	ぎ	ち	こ	い	く	す	
										よく	ん																		

1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	ウ	イ	オ	ア	オ	ウ	ア	イ	エ	イ	ウ	ア
閉	泊	富	余	与	誉	堤	抵	底	被	悲	彼	堅	遣	圈

2×15

5	4	3	2	1
コ	カ	ウ	オ	ク
捕	稿	黙	侵	脚

2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	エ	イ	ア	オ	ウ	ア	イ	エ

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	エ	ウ	イ	ア	エ	ア	ウ	ア	ウ
卍	隸	皿	爻	彡	行	冂	戸	ロ	卍

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
務	綿	互	樹	群	陽	貯	念	隣	暖

2×10

5	4	3	2	1
授	謝	攻	覚	輝
け	れ	める	まし	かしい

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
燥	乱	態	流	歴	維	秋	豊	分	終

2×10

5	4	3	2	1	
迫	欄	弁	細	盟	誤
拍	覧	便	採	迷	正

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
裏	見	添	鉛	隠	傾	鋭	吐	格	芸	砂	冒	丈	握	好	透	宇	反	雑	測
庭	込							闘	能	丘	険	夫	手	感	明	宙	響	誌	定

2×20

5級 (1)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
しょうじ	とど	ふる	かんけつ	も	きょうり	おさな	ないかく	ほうそう	い	はり	しゅうきょう	みと	うんちん	いた	ゆうらんせん	すいしん	おんし	ほ	うつ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
9	5	10	3	13	8	11	9	7	4

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ケ	い	オ	こ	エ	あ	イ	く	カ	き

(二) 部首と部首名記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ウ	ア	エ	イ	エ	ア	ウ	ア

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
疑う	痛い	縮める	拝む	暮れる

(四) 漢字と送りかな(ひらがな) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
将	貴	論	宣	割	誕	臨	難	善	宅

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
晩	操	誌	宙	郵	処	吸	存	興	延

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
細	裁	頂	潮	札	冊	層	倉	値	根

(十) 同じ読み漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	エ	イ	ア	ウ	エ	イ	ア	ウ

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
イ	エ	カ	ケ	キ
オ	ア	ウ	ク	コ

(八) 熟語作り(記号) (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
腹	我	俳句	展示	看板	朗読	骨	並	裏庭	区域	散策	憲法	縦	垂	班	浴	強敵	担任	砂糖	窓

(十一) 漢字 (40) 2×20

6級

(1)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ど	い	ふくざつ	かいえん	こころよ	いきお	くどうてん	ふた	が	どうしよう	て	せいぎかん	きょうみ	か	と	ま	よ	も	こくさい	は
く	ま	つ	ん	よ	お	ん	た	か	う	き	かん	み	ま		よ	う	う	さい	

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	キ	イ	コ	广	才	頁	ク	言	ウ

(三) 部首名と部首 (10) 1×10

5	4	3	2	1
逆	修	破	易	燃
らう	める	る	しい	える

(二) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	ア	イ	エ	イ	エ	ウ	ア	イ

(五) じゅく語の構成記号 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
13	6	12	9	8	1	12	10	7	6

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
断	態	夢	賛	容	液	独	精	述	現

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
暴	象	絶	可	忘	織	任	留	圧	慣

(六) 三字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
費	肥	非	謝	舎	借	貸	幹	完

(十) 同じ読みの漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	ウ	ア	イ	ア	エ	イ	ウ	ア

(九) 音と訓記号 (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
イ	キ	サ	ク	シ	オ

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
仏	寄	防	久	技術	指導	険	伝統	喜	事故	効果	輸入	招待	厚	規則	示	条件	編	衛星	粉雪

(十一) 漢字 (40) 2×20

7級 (1)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
あ	し	だ	ね		さ	よ	し	ふ		と	し		お	は	あ	い	は		う
さ	ぜん	いじん	っせん	つ	べつ	やく	ゆるい	うけい	さ	な	がけん	や		んせい	んがい	さ	くぶつかん	か	め

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ア	イ	ウ	ア	ウ	イ	ウ	ア

(三) 漢字えらび(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
す	こうてん	お	ろうじんかい	こころ	しちやく	な	せいこう	しるし	いんさつ

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1
満	昨	望	陸	辺

(六) 対義語(一字) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	ア	イ	イ	ア	イ	イ	ア	イ	ア

(五) 音読み・訓読み(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総画数					何画目				
6	15	9	12	5	8	9	18	4	7

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ			イ			ア			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
散	放	改	敗	達	連	選	伝	信	仲

(八) 同じ部首の漢字 (20) 2×10

7	6	5	4	3	2	1
参る	群れる	静かな	養う	借りる	熱い	求める

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	ア	イ	エ	オ	ウ	イ	オ	ア	エ

(十) 同じく語作り(記号) (20) 2×10

8	7	6	5	4	3	2	1
節	説	量	料	果	加	菜	最

(九) 同じ読み漢字 (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
固	祝	観	億	灯	利	包	塩	覚	願	愛	建	清	徳	録	径	働	置	極	低

(十一) 漢字 (40) 2×20

2024年度 第3回 日本漢字能力検定 標準解答(こたえ)

検定日 2025年1月31日

（社）日本漢字能力検定協会

(一) つぎの線の漢字の読みがなを線の右に書きなさい。

30 1X30

- 1 あたり一面に雪がもついている。
2 筆箱から消しゴムを取り出す。
3 自分の考えを短い文にまとめる。
4 のこぎりを使って板を切る。
5 電柱の高い所で工事をしている。
6 通学路のどちらに小さな橋がある。
7 バスはカーブで速度を落とす。
8 絵の具をまぜて新しい色を作る。
9 今朝は池に氷がはっていた。
10 係の人がアンケート用紙を配る。
11 五十メートルを全力で走り切る。
12 先生に指名されて教科書を読む。
13 外に出ると、息が白くなった。
14 強風のため電車が運転を見合わせる。
15 ぞうが長い鼻でバナナをつかむ。
16 川原で空きかんやごみを拾った。
17 二重とびのとび方を教えてもらう。
18 つくえの横の本だに辞書をおく。
19 グラウンドで学級ごとに整列する。
20 さんせいより反対が多かった。

神 終 館 死 幸
所 列 住 島 有

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに書きますか。○の中に数字を書きなさい。

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいの読みをことばにしなさい。

- せめる (守)る
明るい (暗)い
来 年 (去)年
止める (動)かす
かりる (返)す

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。

ごんべん (言) 相 談 ・ 下 調 べ
うかんむり (安) 売 り ・ 客 船
つちへん (土) 坂 道 ・ 地 面
しか (戸) 薬 局 ・ 山 小 屋
こころ (心) 感 想 ・ 悪 口

うらへんつづく

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

(五) つぎの (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十) (二十一) (二十二) (二十三) (二十四) (二十五) (二十六) (二十七) (二十八) (二十九) (三十) (三十一) (三十二) (三十三) (三十四) (三十五) (三十六) (三十七) (三十八) (三十九) (四十) (四十一) (四十二) (四十三) (四十四) (四十五) (四十六) (四十七) (四十八) (四十九) (五十) (五十一) (五十二) (五十三) (五十四) (五十五) (五十六) (五十七) (五十八) (五十九) (六十) (六十一) (六十二) (六十三) (六十四) (六十五) (六十六) (六十七) (六十八) (六十九) (七十) (七十一) (七十二) (七十三) (七十四) (七十五) (七十六) (七十七) (七十八) (七十九) (八十) (八十一) (八十二) (八十三) (八十四) (八十五) (八十六) (八十七) (八十八) (八十九) (九十) (九十一) (九十二) (九十三) (九十四) (九十五) (九十六) (九十七) (九十八) (九十九) (百)

20 2X10

(七) つぎの線の漢字の読みがなを線の右に書きなさい。

10 1X10

計算ドリルでかけ算の練習をする。
列車に乗って九州を一周したい。
夕食の前に宿題をすませる。
時(代)げきのさつえいを見学した。
自分をしようかいする文(章)を書く。
駅前(商)店がい(書店)がある。
スケート(世)界(界)大会が開かれる。
図書室は校舎の二(階)にある。
車は十(秒)でトンネルを通りすぎた。
(病)院でけがの手当てを受ける。

ふけて、うれしかった。
かへ新聞に遠足の記事と
写 真 がのっている。
手なでた 笛 が上手に
苦 手なでた 笛 が上手に

お正月に家族で遊ぶんだ。
医者になって多くの人の命を助けた。
庭の花だんにチューリップの球根を植える。
追いかけた。
父は朝早くから畑に出て
農作業をしている。
サッカー大会の決勝で、犬が走って
足もとに注意して寺の急な石段を上る。
ボールを投げると、犬が走って
追いかけた。
姉とおそろいの洋服を買ってもらった。
サッカー大会の決勝で、犬が走って
くやしみだを流した。
足もとに注意して寺の急な石段を上る。
ボールを投げると、犬が走って
追いかけた。

1 つぎのぶんをよんで、**かん字**のよみがなを——**せん**のよみにかきなさい。
④ 2×20

1 ゴールを **目**ぎして

カ **い**っぱいはしる。

2 となり町の **み**せで **青**い

セーターを **か**った。

3 お正月に **じん**じゃへ

いった。百だんもある

石だんを **の**ぼった。

4 タ **や**けてにしの **空**が

赤く **そ**まって **見**えた。

5 ならった **かん**字を **二**つ

つかって **文**をつくる。

花 竹 音 虫 女 木
⑥ ③ ⑥ ④ ① ③

貝 学 空 九 月 左
⑦ ⑧ ⑧ ② ④ ⑤

② つぎの **かん字**の **ふ**とい **ん**ところは **なん**ば **ん**めに **か**きますか。○の **な**かに **す**う字を **か**きなさい。

② 入れた。

ひろって **竹**かこの **中**に

7 **林**で **どん**ぐりを **五**こ

こえて **へ**んじを **し**た。

6 **名**まえを **よ**ばれて **大**きな

③ つぎのぶんをよんで、**かん字**のよみがなを——**せん**のよみにかきなさい。
④ 2×8

えきまえで **火**じがあつた。

ろうそくの **火**がかせて **き**えた。

音がくしつで **オル**ガンを **ひ**く。

ドアを **し**める **音**が **し**た。

水よう日に **ダン**スを **な**らう。

さむくて **水**が **つ**めたい。

ろう下を **し**ずかに **あ**るく。

おちばの **下**に **み**みずが **い**た。

——うらへつづく——

④ つぎの **ことば**の **よ**みがなを **た**だしい **ほう**の **ぼ**んごうに ○ を **つ**けなさい。

1 八十
② はちじゅう

2 王さま
① おおさま
② おうさま

3 上下
① じようげ
② ぢようげ

4 六かい
① ろっかい
② ろつかい

5 町名
① ちようめえ
② ちようめい

⑤ □ に **ひ**らがなを **一**字 **か**いて **つ**ぎの **ことば**の **よ**みを **こ**たえなさい。
(れい ふじ山 …… ふじさん)

入 学 …… に **ゆう** **が**く

一 本 …… い **っ** **ぽ**ん

大 すき …… **だ**い **す**き

七 千 …… **な** **な** **せ**ん
お年玉 …… お **と** **し** **だ** **ま**

⑥ つぎの □ の **な**に **かん字**を **か**きなさい。④ 2×10

足 …… **て** **ぎ**ん …… **き**ん

花 …… **く**もり …… **あ**め **雨**

林 …… **し**ろ **い** **白**

空 …… **す**わる …… **た** **立**

すな …… **つ** **ち** **土** **入**る …… **で** **出**る

⑦ つぎのぶんをよんで、□ の **な**に **かん字**を **か**きなさい。④ 2×20

1 ふゆ **休**みに **か**ぞく

② **四**人で **ス**キーに **い**った。

③ **犬**が **口**を **大**きく

④ あけて **あ**くびを **し**た。

⑤ **糸**で **ん**わを **右**の

⑥ **耳**に **あ**てて **こ**えを **き**く。

4 学 校 の **も**ん の **ま**えで

⑨ **先** **生**に **げ**ん **気**よく

あいさつを **し**た。

5 あさ **早**く **お**きて

おとうさんと **川**の

ちかくを **さん**ぼした。

⑬ **男**の **子**が **ひ**ろばで

じてん **車**に **の**つて

あそんで **い**る。

⑰ **山**に **の**ぼると **村**の

⑱ **田**んぼ **や**は **た**けが

⑳ **小**さく **見**えた。

——おわり——

10級 I

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

(不許複製)